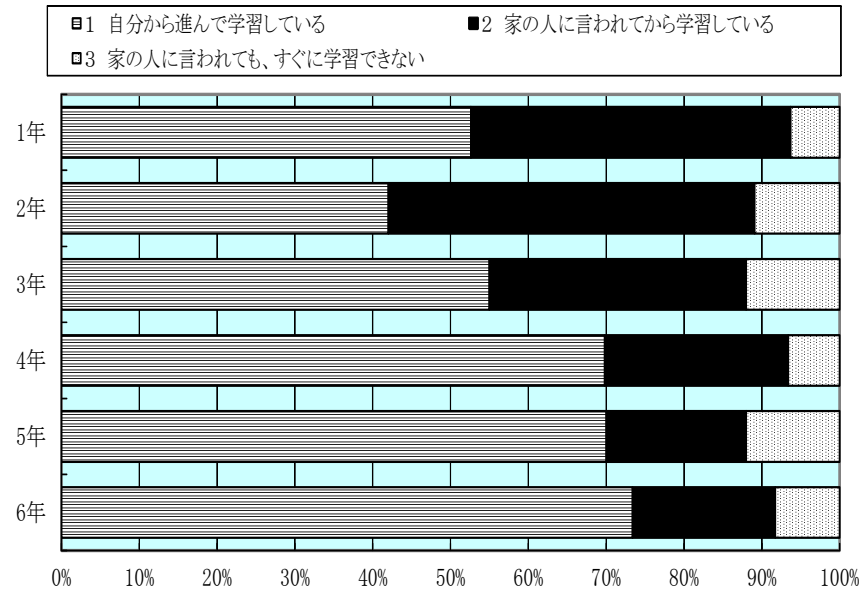


# 「家庭における学習状況の調査」から

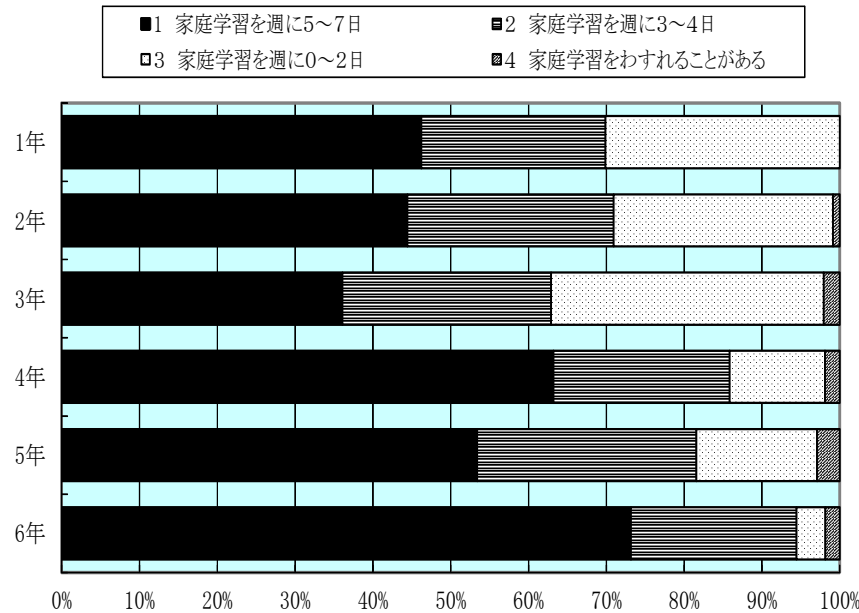
7月に各家庭にご協力いただいた「家庭学習における学習状況の調査」の結果をまとめました。この結果を活かし、さらに家庭学習の習慣が定着していくように子どもたちへ働きかけをしていきたいと思っております。ご家庭でも、下記の結果をよくご覧いただき、家庭学習の取組への参考にしていただければと思います。

## 【家庭学習の様子】

### 家庭学習へ取り組む態度



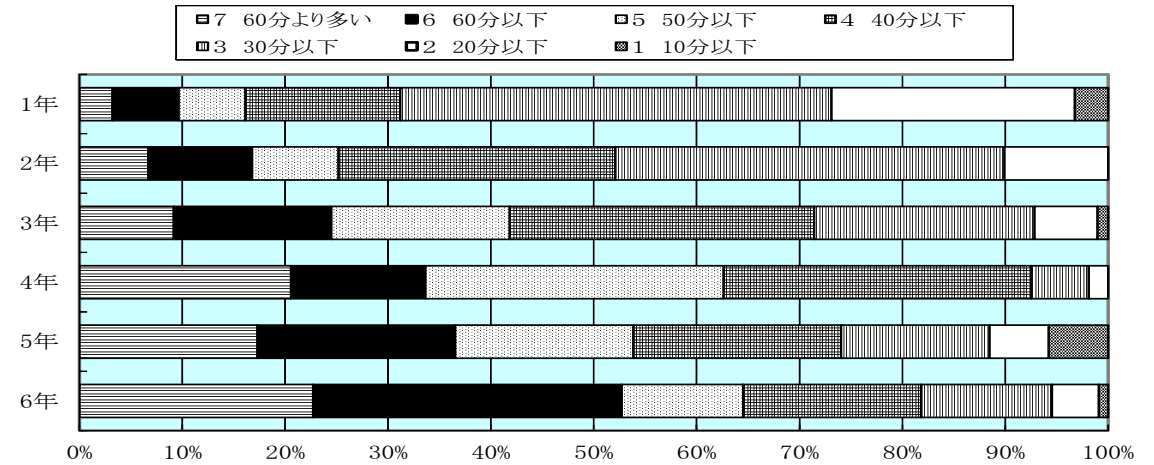
### 家庭学習への取組



『家庭学習へ取り組む態度』をみると、学校全体では6割以上の児童が、「自分から進んで学習している」ことがわかります。しかし、どの学年も、「家の人に言われても、すぐに学習できない」児童がみられます。家庭学習では、まず、「決まった時間に、決まった場所で」学習するルールを決めて守るようにしていきましょう。勉強が好きになることが一番の近道ですが、「根気強さ」や日々の授業できちんと学習内容を身につけることも大切です。『家庭学習への取組』では、およそ2人に1人は家庭学習を週5~7日取り組んでいます。低学年においても、週5日以上家庭学習をしている児童が半数近くいます。低学年から家庭学習が定着していることは素晴らしいことです。しかし、中学年では、家庭学習の日数が少なくなっています。杉戸小学校では、週5日以上家庭学習に取り組める児童が8割となることを目指しています。まずは宿題をきちんと行い、できそうな内容を考え、自主学習に取り組めるようにしていきましょう。

## 【家庭学習の時間】

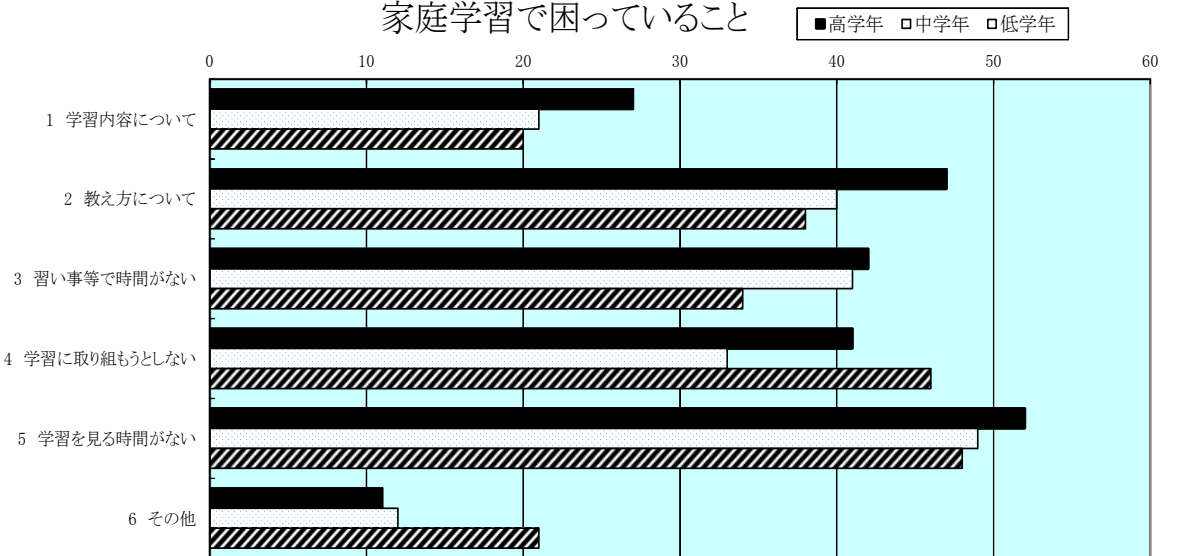
### 家庭学習における学習時間



杉戸小学校では、家庭学習の時間の目安として「学年×10分以上」を提案しています。各学年ごとのばらつきはありますが、高学年に進むにつれて、学習時間が長くなる傾向にあり、目標時間等を意識した取り組みがなされている様子が見取れます。今回の結果を参考にいただき、目標を決めて取り組める2学期にしてほしいと思います。

## 【家庭学習で困っていること】

### 家庭学習で困っていること



困っていることについては、昨年と同様に「時間」との関わりが大きいようです。児童は習い事などで、保護者の方々はお仕事で、なかなか時間がとれないようです。家庭学習の目的は、「自学自習」です。望ましい学習習慣の確立や基礎学力の定着などを目指しております。その日に合わせた学習時間を設定してパターン化するなど、学習時間を弾力的に設定してみてもいいかもしれません。また、依然として「どのように自主学習をしたらよいかわからない」という児童がいます。そうした児童の学習の手がかりとなるように、今年度も家庭学習実践事例集「みんなの自主学習ノート」を作成しますので、ご活用ください。

